

鳥取県が移住・定住PRイベントを初開催

『とうきょうの真ん中で“地方暮らし”を考える～とっどりの場合～』

■日 時：10月18日(土)・19日(日) 11:00～16:30

■場 所：アーツ千代田3331(東京都千代田区)

県と県内で活動する劇団「鳥の劇場」のコラボで鳥取県の地方暮らしを提案
親子で楽しめる演劇上演や移住者によるトークイベントを実施

鳥取県は、県内で活動する劇団「特定非営利活動法人 鳥の劇場」と協力し、鳥取県への移住・定住についてPRするイベント『とうきょうの真ん中で“地方暮らし”を考える～とっどりの場合～』を、10月18日(土)と19日(日)の二日間、首都圏で初めて開催します。

2007年より移住定住促進に力を入れている鳥取県では、2011年度から4年間で県外から2000人の移住者受入を目標に「移住2000人達成事業」を実施しています。県外での移住相談会や、移住先の市町村の環境整備を積極的に行った結果、今年3月には、県外からの移住者数が2172人となり、1年早く受入目標を達成しています。

今回のイベントは、この「移住2000人達成事業」の一環で、更なる移住定住の促進を目的に、20代～40代の子育て世代の方や女性に向け、地方暮らしを提案するものです。

イベントでは「鳥取での子育て、暮らしの魅力」をテーマに、実際にUターンやIターンをし、県内で活躍されている漁師やデザイナーなど、多彩な職業の方々によるトークセッションを行います。また「鳥の劇場」によるファミリー向けの演劇の上演もいたします。この他、会場には移住相談の対応を行う相談ブースを設置し、鳥取県での地方暮らしを考え、魅力に触れることができるイベントとなっています。10月18日(土)には平井伸治知事による挨拶もごさいます。

ご多忙のこととは存じますが、ぜひご取材を賜りますようお願い申し上げます。

『とうきょうの真ん中で“地方暮らし”を考える～とっどりの場合～』開催概要

【日時】

10月18日(土)・19日(日) 11:00～16:30

【場所】

アーツ千代田3331(東京都千代田区外神田6丁目11-14)



<アクセス>

- ・東京メトロ銀座線末広町駅
4番出口より徒歩1分
- ・東京メトロ千代田線湯島駅
6番出口より徒歩3分
- ・都営大江戸線 上野御徒町駅
A1番出口より徒歩6分
- ・JR御徒町駅南口より徒歩7分
- ・JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分
- ・JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

【料金】

全プログラム入場無料・予約不要

【内容】

- ◇鳥取県へのIターン・Uターン経験者などによるトークセッション
※詳細は次ページをご参照ください
- ◇「鳥の劇場」による演劇上演
演目:「アナンシと5」「どろぼうがっこう」
- ◇「鳥の劇場」所属俳優による読み聞かせ
- ◇イラストレーターClaralによるファミリー似顔絵コーナー
- ◇移住定住サポートセンターの相談ブース設置
- ◇鳥取県ならではの物品販売

【主催】

鳥取県／特定非営利活動法人鳥の劇場

【イベントHP】

- ・鳥取県とっとり暮らし支援課
<http://www.pref.tottori.lg.jp/item/926106.htm>
- ・公式facebookページ
<https://ja-jp.facebook.com/tottorinobaai>

※10月18日(土)15時より、平井伸治知事がステージ上にて挨拶をいたします

<本リリースに関するお問い合わせ先>

鳥取県地域振興部 とっとり暮らし支援課 担当: 谷口

TEL:0857-26-7128 FAX:0857-26-8129

取材当日のご連絡先・・・080-2934-3053(担当:谷口)

イベントスケジュール

【1日目】10月18日(土)11:00~16:30

時間	プログラム	内容
11:00~	鳥の劇場上演「アナンシと5」	
11:40~	こだわリトークその1 「わたしの暮らし、ものづくり」	【出演】白岡 崇 (株式会社ヒョウデザイン代表/東京都からUターン) インテリアデザイナーとして活躍する白岡さんが、杉檜、和紙、陶器など鳥取県産の素材をいかしたものづくり、自らの暮らし、子育てなどについて語ります。 
13:00~	こだわリトークその2 「森のなかで育つ子どもたち」	【出演】西村 早栄子 (森のようちえん まるとんぼう代表/東京都からUターン) 鳥取県南東部の智頭町で「森のようちえん まるとんぼう」を開園している西村さんが、自身の移住体験や子育て、豊かな自然を活かした「まるとんぼう」での実践などを語ります。 
14:00~	鳥の劇場上演「どろぼうがっこう」	
15:00~	平井伸治知事による挨拶	※挨拶のみの出演になります
15:00~	こだわリトークその3 「移住してはじめて、素潜り漁の魅力」	【出演】中村 隆行 (株式会社漁師中村代表/埼玉県からUターン) 素潜りの漁師をしている中村さんが、漁のこと、鳥取の魅力的な海や食のこと、移住後の鳥取での暮らしのことなどを語ります。 
16:00~	鳥の劇場上演「アナンシと5」	

【2日目】10月19日(日)11:00~16:30

時間	プログラム	内容
11:00~	鳥の劇場上演「アナンシと5」	
11:40~	こだわリトークその4 「家づくりにこだわる話」	【出演】来間 直樹(建築家/東京都からUターン) 建築家として、建築や住環境の向上などにさまざまな形でアプローチしている来間さんが、家づくりや空き家活用、子育てなどについて、自身の経験もいかして語ります。 
13:00~	こだわリトークその5 「大自然のなかで遊びきる子どもたち」	【出演】北垣 聡(NPO法人親子支援hughug代表) 中国地方の最高峰・大山のふもとで、「hughug大山森のようちえん」を開園している北垣さんが、四季折々の自然の中で育つ子どもたちのことや、ようちえんで実践している「見守る保育」のことなどを語ります。 
14:00~	鳥の劇場上演「どろぼうがっこう」	
15:00~	こだわリトークその6 「とつりのおいしい食、食を通じた出会い」	【出演】河崎 妙子 (レストラプロデューサー/鳥取と東京の二地域居住) レストラプロデューサーとして、レストランのオーナーとして、鳥取県産食材の魅力を発信しつづける河崎さんが、とつりの安全でおいしい食べ物、食を通じて広がる自身の活動などについて語ります。 
16:00~	鳥の劇場上演「アナンシと5」	

<上演演目>

「アナンシと5」

【原作】ジャマイカ民謡

各日11:00/16:00~

「5」という名前の魔女は、自分の名前が大きらい。ある日、5は「5ということばを言ったものは、その場で死んでしまえ」という呪いを世界中にかけます。それを盗み聞きたいはずら好きのアナンシは、悪だくみを思いつきます。



「どろぼうがっこう」

【原作】かこさとし

各日14:00~

「どろぼうがっこう」の生徒たちは、立派などろぼうを目指して勉強中。「あしたまでになにか、どろぼうをやっこい」という宿題に、自分の家から靴を盗んだり、先生の時計を盗んだり。そんな生徒たちが、真夜中の遠足に出かけます。



■特定非営利活動法人「鳥の劇場」とは

2006年設立。鳥取市の西部にある鹿野町の廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設にリノベーションし、活動しています。現代劇の創作・上演に加えて、ワークショップの実施、毎年9月に開催される「鳥の演劇祭」の実施など、演劇を通じた地域振興、教育分野への貢献を目指しています。2011年度国際交流基金地球市民賞受賞。



<参考>鳥取県が取り組む移住定住施策について

【情報①】「移住2000人達成事業」とは

2013年3月に発表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、2040年の鳥取県の人口は、現在の約57万人から約44万人まで減少すると見込まれています。そのような人口減少問題を抱えた鳥取県が、県への移住・定住を目的に2011年～2014年度までの4年間で、移住者2000人受入目標を達成するため、**移住者を増やすための情報発信の強化や、地域における受け皿づくり**を行っています。

今年3月には県外からの移住者数が2172人となり、1年早く受入目標を達成。今後さらなる移住・定住者の増加が期待されています。

【具体施策】

- ・移住定住ポータルサイト「鳥取来楽暮(とっとりこらぼ)」での情報提供
- ・お試し定住施設での田舎暮らし体験
- ・移住イベントでの暮らしや就職に関する相談会開催
- ・移住者受入を検討する集落へのアドバイザー派遣
- ・自然体験活動を行う「森のようちえん」支援 等



田舎暮らし体験の様子



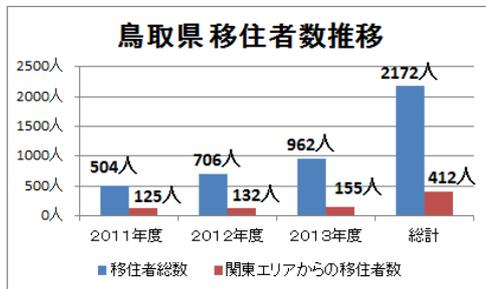
相談会の様子

<参考URL>

鳥取県公式ホームページ とりネット <http://www.pref.tottori.lg.jp/>

とっとり移住定住ポータルサイト「鳥取来楽暮」 <http://furusato.tori-info.co.jp/iju>

【移住者数の推移(2011～2013年) ※全体及び関東エリアからの移住者数】



森のようちえん

■移住者総数

2011年度 504人／2012年度 706人／2013年度 962人／計2172人

■関東エリアからの移住者数

2011年度 125人／2012年度 132人／2013年度 155人／計412人

【情報②】県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」に移住コーナーを設置

鳥取県、岡山県の両県共同のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」が2014年9月28日(日)、新橋駅前にオープンしました。

1階のショップでは、生鮮食品や加工品など両県の特産物、約1500点を販売。2階は両県ならではの食材を使った料理を味わえる「ビストロカフェ ももてなし家」の他に、観光や移住等に関する説明・案内や情報提供、相談対応を行う「観光・移住コーナー」を設けています。「観光・移住コーナー」では午前10時～午後6時まで窓口を設け、パンフレット、冊子等を開架しています。

<今後の「とっとり・おかやま新橋館」での鳥取県移住相談会>

鳥取県への移住に興味がある方々に対し、日中に参加できない方を考慮してのナイター相談会や、相談員が出張で出向く移住・定住の相談会も開催しています。

また、**2015年1月31日(土)には市町村合同相談会を開催する予定です。**

■平日ナイター相談会:(18:00～20:00)

11月6日(木)/12月11日(木)/1月8日(木)/2月12日(木)/3月12日(木)

■鳥取移住定住出張相談会:(13:00～17:00)

11月8日(土)/12月13日(土)/2月14日(土)



『とっとり・おかやま新橋館』

住所:東京都港区新橋一丁目11番7号
新橋センタープレイス1F/2F

URL: <http://www.torioka.com/>

◇観光・移住コーナー

【相談時間】10:00～18:00

<首都圏での今後のイベント・施策 >

■移住セミナー「鳥取来楽暮(とっとりこらぼ)カフェ」の開催

昨年に続き、鳥取県と宝島社『田舎暮らしの本』がコラボして、首都圏から鳥取県への移住に関するセミナーを開催します。講師には自然体験を通して幼児教育を行う「森のようちえん 風りんりん」の代表徳本 敦子さんや、鳥取で子育てを実践中のご家族を招き、鳥取県での生活や子育ての話をいたします。

【日時】平成26年11月22日(土) 13:00～(予定)

【会場】TOWN DESIGN CAFE (東京都渋谷区神宮前5-7-18 プラザ青山1階)

【定員】25名程度(※当日受付可)

【参加費】無料

【主催】鳥取県移住定住サポートセンター(公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構)・田舎暮らしの本(宝島社)

【共催】鳥取県



昨年の鳥取来楽暮カフェの様子